

# 文教厚生常任委員会

## 老人ホーム「敬老園」の

### 民間移譲計画の進め方は

宮之城町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について

問 改正の理由は。

答 今回の改正は、医療費助成対象者の所得制限基準額の規定について、児童扶養手当法の施行令が改正されたことによる。

平成十六年度宮之城町一般会計予算（関係分）

問 福祉事業の「高齢者ふれあいサロン事業」を、どのように立ち上げていくのか。

答 町社会福祉協議会を主体に、地区社会福祉協議会や公民会

長と話し合いを持ちながら進めたい。基本的には、地域のアイデア・自主性により、モデルとなる「高齢者のふれあいサロン」を、地元で運営してもらいたい。

問 敬老園の民間移譲を進めるうえで、特に問題とされる点と今後の進め方は。

答 慣れ親しんだ職員が引き上げられることへの入所者の不安、築三〇年を経過し、老朽化している施設とバリアフリー化が問題である。今後の進め方については、現状の施設を、そのまま引き取ってもらえる移譲先を公募したい。今後、検討委員会で諸問題を検討していきたい。

問 環境美化推進員も設置され、環境美化が進められているが、犬のフンの処理について、苦情が絶えない。その対策は。

答 犬のフンの処理については、衛自連・環境美化推進員等と連携しながら、繰り返し飼い主の責任として、啓発していきたい。

問 給食センターでの、地元食材の供給の方法と職員態勢は。

答 地元食材の利用については、平成十六年度中に、具体的に検討していく。約一、七〇〇食分の材料を、低価で大量に安定的に供給できることが、一番のポイントとなる。職員態勢については、現在の職員で、機械化による省力化を図りながら対応したい。

「平成十六年度宮之城町国民健康保険事業特別会計予算」及び「平成十六年度宮之城町老人保健医療特別会計予算」

問 滞納整理業務の効果は。また、医療費の高騰対策は。

答 十二月から町税も含め、差押え事務に入り、納付額が約一九二万円である。今後の医療費の高騰に対して、医療費のレセプト点検の強化と保健事業の定着による医療費の削減に努めたい。

平成十六年度宮之城町介護保険事業特別会計予算

問 介護保険事業の健全な財政を維持するためには、高齢者ふれあいサロン事業、健康づくり教室等を広く進め、町民が一体となつて、医療給付を抑える手立てが必要であると思うが、今後、介護保険事業を、どのように進めるのか

答 介護給付の増加には、歯止めがかからない現状にある。平成十五年度から介護保険適正化事業に取り組み、給付の実態、事業者ごとのサービス利用について、細かく分析するシステムを構築中である。来年度からその活用を図り、あらゆる機会をとらえて、事業所に実情を訴えたい。